なんでもスイッチ USB

TSWNA-71

ユーザーズマニュアル

（取扱説明書）

Assistive Technology as Tools

テクノツール株式会社

Technotools Corporation

※ 本機をご使用になる前に、このユーザーズマニュアルをよくお読みください。

＜箱の中の確認＞

本製品には以下のものが入っています。ご使用になる前に確認してください。

・なんでもスイッチ USB 本体(TSWNA-D01)
・ユーザーズマニュアル（取扱説明書）
・USB ケーブル
・ドライバ CD-ROM：
　TSWNA-D01-F5

目　次

1. はじめに

このたびは、なんでもスイッチ USB TSWNA-71 をお買い求めいただきまことにありがとうございます。本製品は、外部スイッチを PC/AT 互換パソコンへの入力装置として使用するためのスイッチインターフェースです。同梱の専用のアプリケーションソフトを利用し、本機に接続された各スイッチからの信号を任意のキー信号に設定することが行えます。

2. 特徴

本製品は次のような特徴があります。

1 USB でノートパソコンに最適

USB インターフェースを採用しプラグ＆プレイでパソコンと接続できます。手軽にインストールでき、AC アダプターも電池もいりません。

2 最大 5 個のスイッチを接続

最大で 5 つのスイッチを接続できます。好みのスイッチでご利用いただけます。

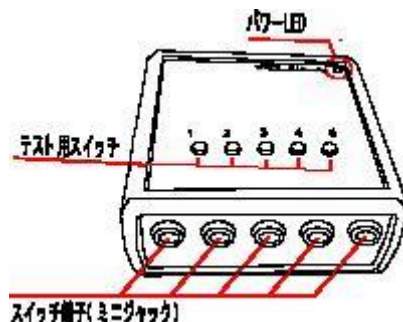
3 スイッチからの信号を任意のキーに割り当て可能

専用のアプリケーションソフトを利用していますので、利用したいキー信号への割り当てが任意に設定できます。

4 軽量コンパクト

コンパクトな 80g（本体）の軽量設計です。

3. 各部の名称とはたらき

●前面、上部の各部の名称と機能を説明します。

1 パワーLED

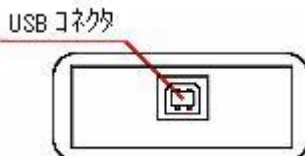
本機が正しく認識されている時に点灯します。もし、パソコンの電源が入っているのに、この LED が点灯しない時は、USB ケーブルをいったん抜いて挿しなおしてみてください。

2 テスト用スイッチ

テスト用のスイッチです。本機の動作を確認するときに使用します。

3 スイッチ端子

スイッチ(別売)を接続する 3.5mm のミニジャックです。様々なスイッチを接続できます。

●背面のコネクタを説明します。

4 USB コネクタ

パソコンと付属の USB ケーブルで接続します。

4. 動作環境

本機の動作には、以下のようなものが必要です。ご使用のパソコンや環境をご確認ください。

対応機種	PC/AT 互換機
対応 OS ※いずれも日本語	Microsoft Windows® Vista(32 ビット版) Microsoft Windows® 7(32・64 ビット版) Microsoft Windows® 8(32・64 ビット版) Microsoft Windows® 8.1(32・64 ビット版) ※Windows8,8.1 では、デスクトップアプリとして動作します。
CD-ROM ドライブ	ドライバのインストールに CD-ROM が必要です
推奨メモリ	512M バイト（WindowsVista）以上 1G バイト（Windows7、8、8.1）以上 ※必要な容量はお使いの基本ソフトウェアの推奨容量を搭載することをお勧めします。
ハードディスク	100M バイト以上の空きエリア
USB	USB 規格 1.0 に対応
外部スイッチ	通常の受動スイッチ（電源の不要なもの）で定格 DC12V、50mA 以上のものまたは、弊社動作確認済みスイッチ※

※ 動作確認済みのスイッチについてはテクノツールのホームページをご覧ください。(http://www.ttools.co.jp)

5. ユーティリティ・アプリ・ドライバのインストール

本機をご利用になるには、付属の導入用 CD-ROM をパソコンにセットして、ユーティリティソフト・アプリケーションソフト・USB ドライバのインストール作業を行います。
付属の導入用 CD-ROM は、TSWNA-D01-F5 をご利用ください。
以下の手順に沿って、作業を行ってください。

＊注意！
本機の USB 接続は、このインストール作業の完了までお待ち下さい！
ユーティリティソフト、アプリケーションソフト、USB ドライバのインストールを完了させる前に、**本機をパソコンに接続させない**で下さい。

◆インストール

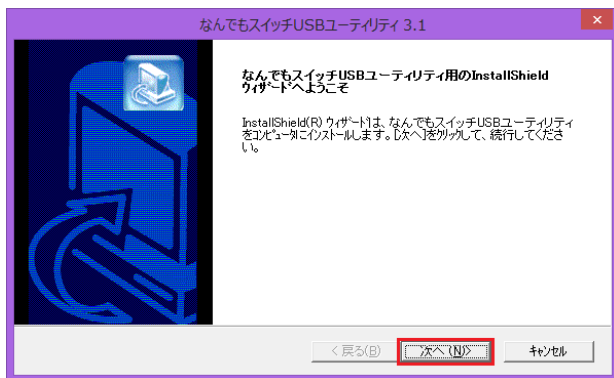
1. ユーティリティソフトの導入

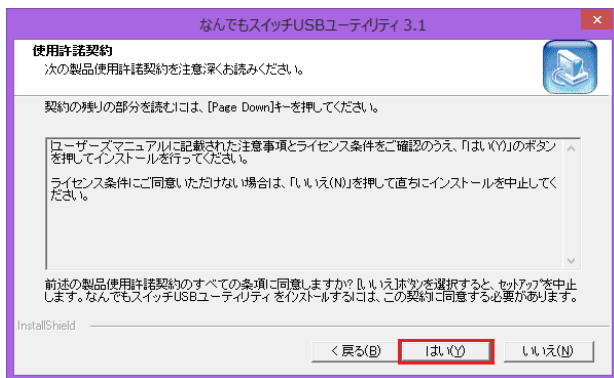
付属の「なんでもスイッチ USB」導入 CD-ROM をパソコンの CD ドライブにセットしてください。
CD 挿入後「自動再生」画面が表示されます。「Setup.exe の実行」をクリックしてください。

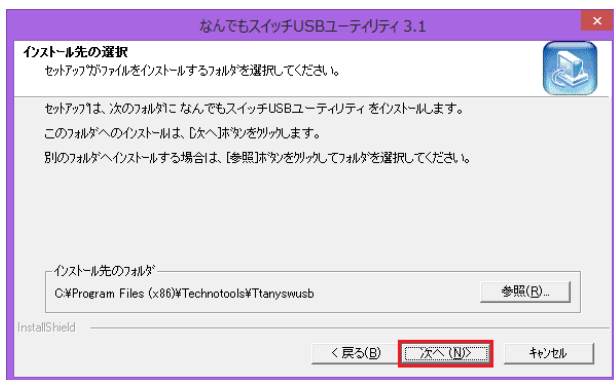
例）Windows8

※「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」または「続行」を押してください。

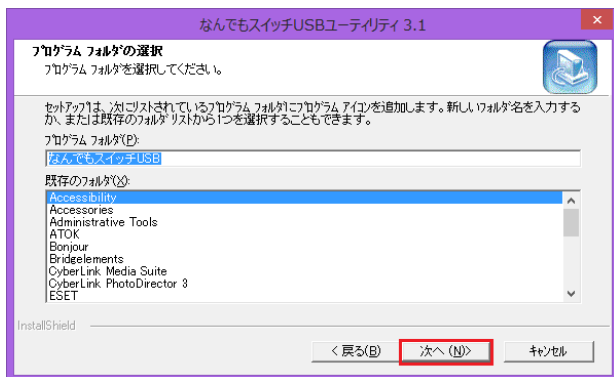
2.「なんでもスイッチ USB ユーティリティ」インストールの開始

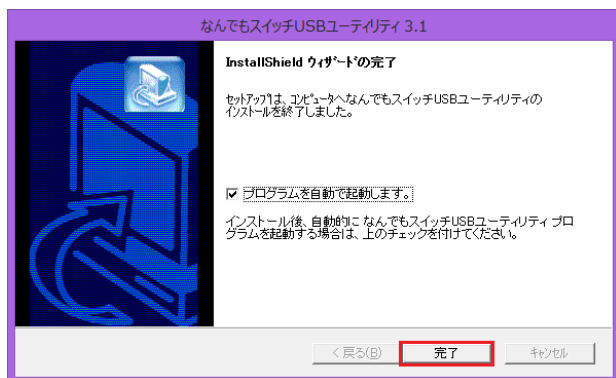
次のような画面が表示されインストールが始まります。「次へ(N)」をクリックしてユーティリティのインストールを進めます。

3. 使用許諾条件の確認

ユーティリティの使用許諾条件の確認画面です。内容を確認して、了解の上「はい(Y)」をクリックしてください。使用許諾条件に同意できない場合は、「いいえ(N)」をクリックしてインストールをただちに中止してください。

4. インストール先の選択

インストールするディレクトリを選択します。「次へ(N)」をクリックするとインストー

ルが進みます。

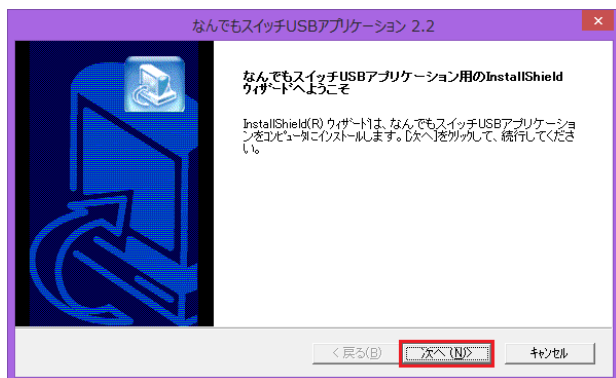
5. プログラムフォルダの選択

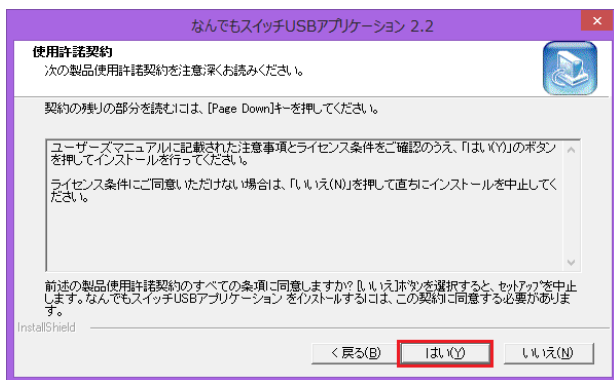
スタートメニューに登録するフォルダの名前です。「次へ(N)」をクリックすると、インストールが進みます。

6. ユーティリティのインストールの完了

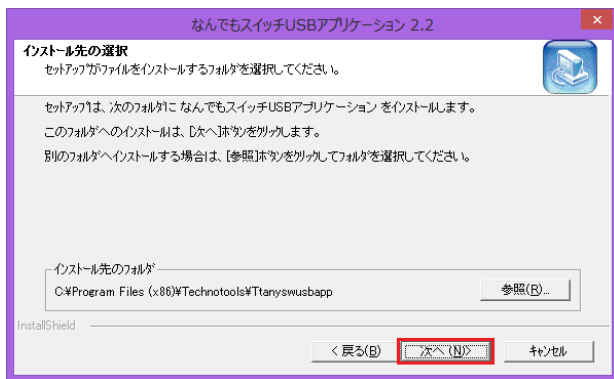
インストールが進みこの画面が表示されたらインストールは完了です。すぐに「なんでもスイッチ USB ユーティリティ」を実行する場合は、「自動で起動します」をチェックしたままにしてください。

「なんでもスイッチ USB ユーティリティ」のインストールは完了しました。

※引き続き「なんでもスイッチ USB アプリケーション」のインストールを行います。
自動的にインストール画面が開始されますので、そのままお待ち下さい。

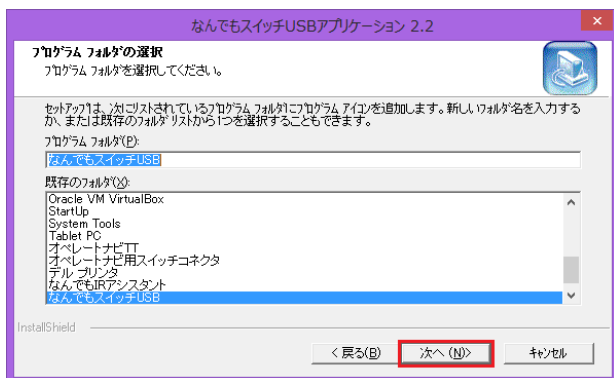
7.「なんでもスイッチ USB アプリケーション」のインストール

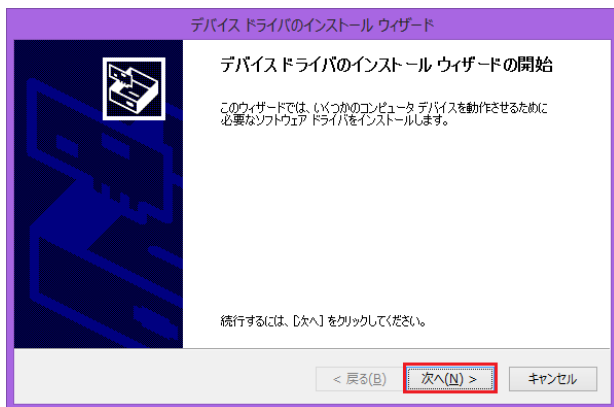
次の画面が表示されます。「次へ(N)」をクリックしてアプリケーションのインストールを進めます。

8. 使用許諾条件の確認

アプリケーションの使用許諾条件の確認画面です。内容を確認して、了解の上「はい(Y)」をクリックしてください。使用許諾条件に同意できない場合は、「いいえ(N)」をクリックしてインストールをただちに中止してください。

9. インストール先の選択

インストールするディレクトリを選択します。「次へ(N)」をクリックするとインストールが進みます。

※画像は Windows8 を例としています。

10. プログラムフォルダの選択

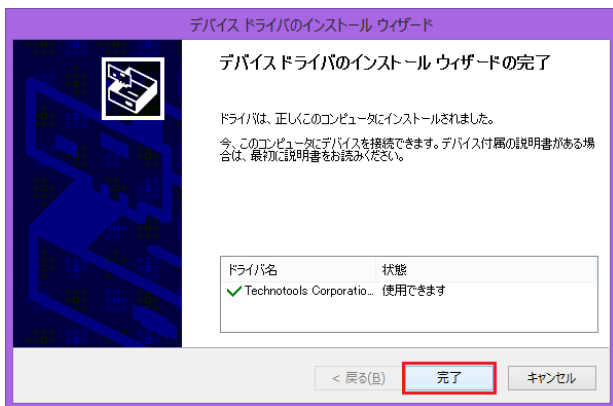
スタートメニューに登録するフォルダの名前です。「次へ(N)」をクリックすると、インストールが進みます。

11. デバイスドライバ(USB ドライバ)のインストール開始

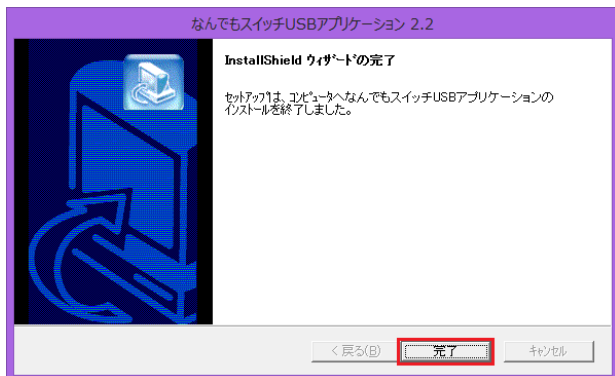
「なんでもスイッチ USB アプリケーション」インストールの終了間際に、「USB ドライバ」の導入画面が表示されます。画面タイトルは「デバイスドライバのインストール ウィザード」です。

この画面が表示されたら「次へ(N)」をクリックします。

12. Windows セキュリティ～インストール

以下の Windows セキュリティ画面「このデバイス ソフトウェアをインストールしますか？」が表示される場合は、「インストール」をクリックしてください。

13. デバイスドライバのインストールの完了

インストールが進み「デバイスドライバのインストールウィザードの完了」画面が表示されたらインストールは完了です。「完了」ボタンをクリックしてください。

14. アプリケーションのインストールの完了

デバイスドライバ(USB ドライバ)の完了後、なんでもスイッチ USB アプリケーションの画面が表示されたらインストールは完了です。

正しくインストールされると、ユーティリティがスタートメニューの「プログラム」もしくは「すべてのプログラム」→「なんでもスイッチ」 に登録されます。
※Vista、7 および 8(32 ビット)の場合は、次項「7. WindowsVista,7,8(32 ビット)の起動設定」を参照ください。

15. **パソコンの再起動**
導入作業が完了しましたら、**パソコン(Windows)の再起動**を行ってください。
再起動されないと、正しく動作しない場合がございます。

6. なんでもスイッチ USB(本機)を接続する

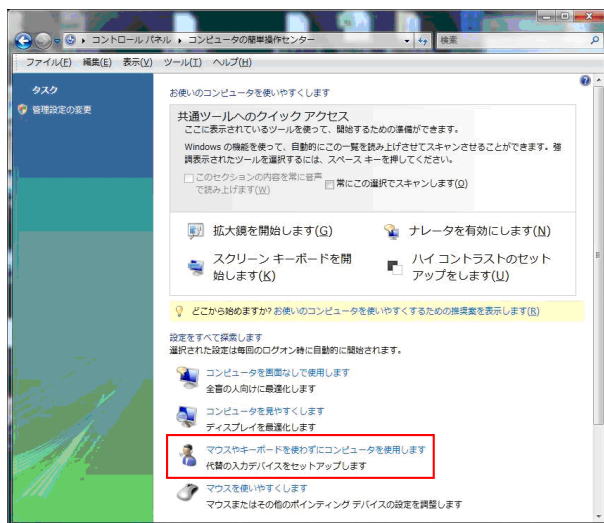
本機をご利用になるには、付属の USB ケーブルをなんでもスイッチ USB(本機)とパソコンに接続してください。
そのままお使いいただけるようになります。本機とパソコンを付属の USB ケーブルで接続させてください。自動的に本機を認識しご利用いただけるようになります。

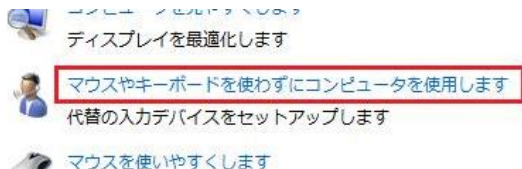
1. **「なんでもスイッチ USB(本機)」に USB ケーブルを接続します。**
前項「5.ユーティリティ、アプリ、ドライバをインストールする」作業が完了していることをご確認下さい。
2. **パソコンと接続する**
本機を USB ケーブルでパソコンと接続します。接続すると、自動的に USB デバイスのインストールが始まり、ご利用いただけるようになります。

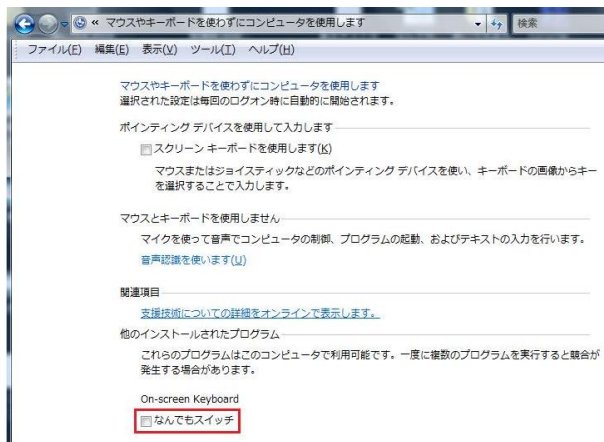
7. WindowsVista,7,8 (32 ビット)の起動設定

なんでもスイッチ USB のユーティリティを Windows 起動時に自動起動させるには、以下の設定が必要となります。
設定が行われていない場合、手動で起動していただく場合があります。
※この設定が不要な方は、次の項目をお読みください。

1. コントロールパネルから、コンピュータの簡単操作センターを開きます。

スタートメニューからコントロールパネルを選択し、「コンピュータの簡単操作センター」を開きます。*Windows キーを押しながら U キーを押すと「コンピュータの簡単操作センター」が表示されます。

2. 「マウスやキーボードを使わずにコンピュータを使用します」を選択します。

「コンピュータの簡単操作センター」画面下部にある項目「マウスやキーボードを使わずにコンピュータを使用します」を選択します。

3. 「他のインストールされたプログラム」に表示

画面下部の項目「他のインストールされたプログラム」にチェックボックスと『なんでもスイッチ』が表示されているのを確認してください。

4. 『なんでもスイッチ』項目にチャックを付け、保存

チェックボックスをマウスでクリックして、チェックを入れて、保存ボタンを押してください。設定が完了します。

※本設定後、パソコンを再起動してください。

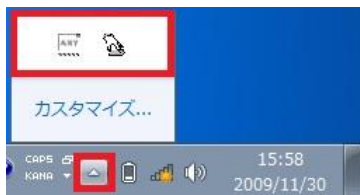
8. ユーティリティ・アプリの動作確認

「なんでもスイッチ USB」の USB ドライバ、ユーティリティ、アプリケーションの導入が完了すると、タスクトレイにユーティリティとアプリケーションのアイコンが表示されます。

タスクトレイ上の表示

（なんでもスイッチ USB 接続時）

（なんでもスイッチ USB 未接続時）

※例)Windows7 の場合
タスクトレイに導入されたアイコンが隠れている場合があります。
タスクトレイ上の▲マークをクリックして「なんでもスイッチ USB ユーティリティ」アイコン、「なんでもスイッチ USB アプリケーション」アイコンが表示されることを確認下さい。

※表示されない場合は、前項の「WindowsVista・Windows7 の起動時設定」を参照下さい。

なんでもスイッチ USB ユーティリティアイコン

（なんでもスイッチ USB 接続時・カラー表示）

（なんでもスイッチ USB 未接続時・グレー表示）

なんでもスイッチ USB アプリケーションアイコン

（なんでもスイッチ USB 接続時・カラー表示）

（なんでもスイッチ USB 未接続時・グレー表示）

また、以下にプログラムのショートカットが出来上がります。
スタートメニュー＞すべてのプログラム（プログラム）＞
なんでもスイッチ USB
・なんでもスイッチ USB ユーティリティ
・なんでもスイッチ USB アプリケーション

1.「なんでもスイッチ USB ユーティリティ」の動作確認

タスクトレイ内のユーティリティアイコンを右クリックすると、メニューが表示されます。

・「バージョン情報」

「なんでもスイッチ USB　ユーティリティ」のバージョン確認ができます。

「OK」ボタンをマウスでクリックすると画面が閉じます。

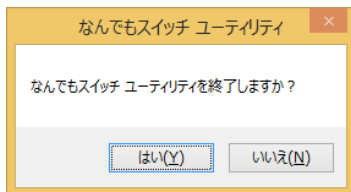
・「動作テスト」

「なんでもスイッチ USB 本機」の動作確認できます。

この画面では、なんでもスイッチ USB 本機の接続状態がわかります。
接続時には画面の右上の丸表示が青色に変わります。

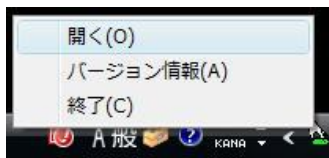
また、「なんでもスイッチ USB 本機」上のテスト用スイッチもしくは、本機に接続しているスイッチを押すと、同じ位置の画面上のスイッチの場所が緑色に変わりますので、動作の確認が行えます。
「OK」ボタンをマウスでクリックすると画面が閉じます。

・「終了」

「なんでもスイッチ USB ユーティリティ」を終了します。

「OK」ボタンをマウスでクリックすると「なんでもスイッチ USB ユーティリティ」が終了します。
※このユーティリティーが終了すると、「なんでもスイッチ USB」が利用できなくなります。

再度起動させるには、スタートメニュー＞すべてのプログラム＞「なんでもスイッチ USB」＞「なんでもスイッチ USB ユーティリティ」を選択してください。

2.「なんでもスイッチ USB アプリケーション」の動作確認

タスクトレイ内のアプリケーションアイコンを右クリックすると、メニューが表示されます。

- **「開く」**

「なんでもスイッチ USB　アプリケーション」画面が開きます。
設定など確認、変更を行う場合にこの画面を表示させます。

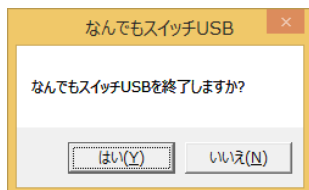
「OK」ボタンをマウスでクリックすると画面が閉じます。終了はしません。

・**「バージョン情報」**

「なんでもスイッチ USB　アプリケーション」のバージョン確認ができます。

「OK」ボタンをマウスでクリックすると画面が閉じます。

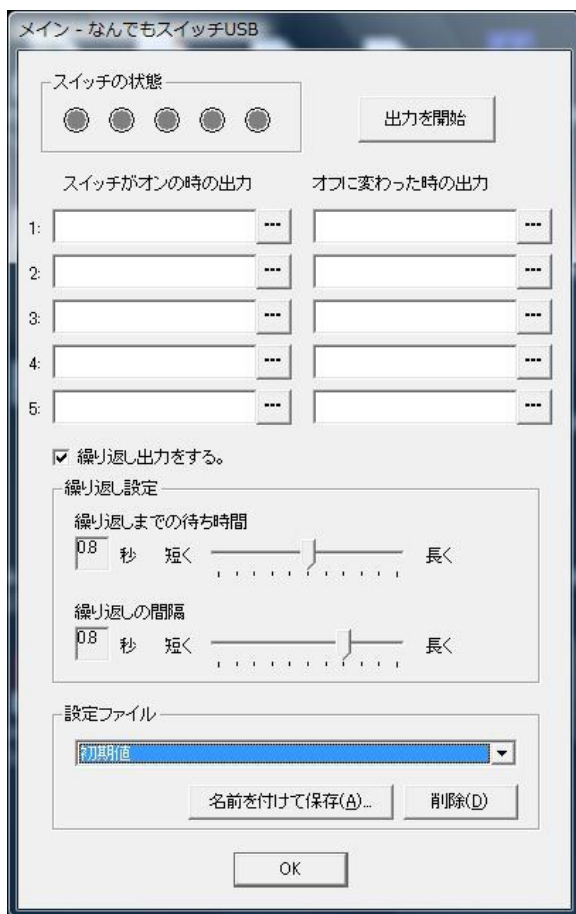
・**「終了」**

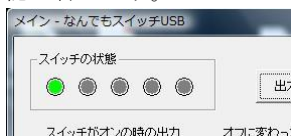
「なんでもスイッチ USB アプリケーション」を終了します。

「はい」ボタンをマウスでクリックすると「なんでもスイッチ USB アプリケーション」が終了します。

再度起動させるには、スタートメニュー＞すべてのプログラム＞「なんでもスイッチ USB」＞「なんでもスイッチ USB アプリケーション」を選択してください。

9. なんでもスイッチ USB アプリケーションの設定

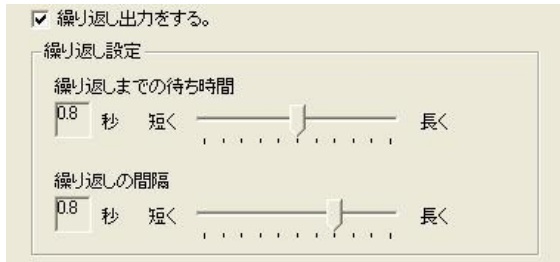
1. アプリケーションの画面（メイン画面）

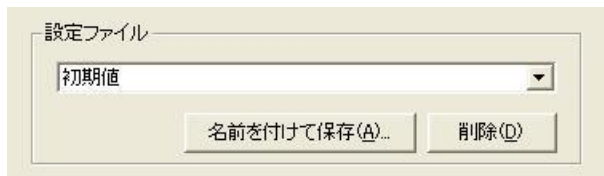
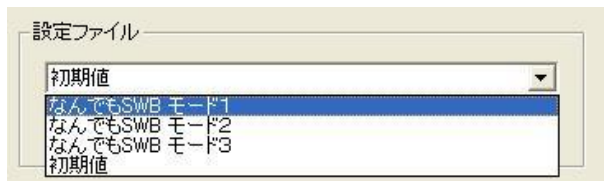
なんでもスイッチ USB 本機を使用するには、アプリケーションの設定をおこなう必要があります。設定を行うために、タスクトレイ内のアプリケーションアイコンを右クリックし、表示されるメニューから「開く」を選択してアプリケーション画面を表示します。

- **スイッチの状態**

  スイッチの動作確認が行えます。「なんでもスイッチ USB」本機上のテスト用スイッチもしくは、本機に接続しているスイッチを押すと、同じ位置の画面上のスイッチの場所が緑色に変わりますので、動作の確認が行えます。

- **スイッチがオンの時の出力/オフに変わった時の出力**

  接続するスイッチは、１～５個まで設定(キー、マウス、アプリケーションの指定、文字列の挿入)が行えます。
  「スイッチがオンの時の出力」とは、スイッチが押された時にパソコンに設定された信号を流します。
  「オフに変わった時の出力」とは、スイッチ押し離した時にパソコンに設定された信号を出力します。

- **繰り返し出力をする**

  スイッチを押したままの状態の時に、繰り返し信号を出力します。
  繰り返しまでの待ち時間、繰り返す間隔を設定できます。

- **設定ファイル**

  出力されるスイッチの設定を保存、読み込むことができます。

出荷時の初期値は出力設定をされていませんが、以下のモードが用意されています。

・なんでも SWB モード 1 （スイッチがオンの時の出力）

1：エンター、2：Tab、3：Shift+Tab、4：Shift+Ctrl+Tab、5:バックスペース

・なんでも SWB モード 2 （スイッチがオン → オフに変わった時の出力）

1：エンター、2：Tab → エンター、3：Shift+Tab → エンター、
4：Shift+Ctrl+Tab → エンター、5:バックスペース → エンター

・なんでも SWB モード 3（スイッチがオン → オフに変わった時の出力）

1：エンター、2：Tab、3：Shift+Tab、4：Shift+Ctrl+Tab → エンター、
5:バックスペース

	スイッチがオンの時の出力	オフに変わった時の出力
1:	エンター	
2:	Tab	
3:	Shift + Tab	
4:	Shift + Ctrl + Tab	
5:	バックスペース	

（例）「なんでも SWB モード 1」を選択した場合

2. 出力設定（スイッチの設定）

「スイッチがオンの時の出力」「オフに変わった時の出力」共通

メイン画面で、出力設定を行いたいスイッチ番号の『…』をクリックしてください。

すると割り当てを行える「出力設定」画面が表示されます。

＊出力設定は、1～5 のスイッチ毎に行います。

スイッチ1を設定（例）

出力設定画面

- **出力の選択**

  スイッチの出力結果を選択できます。

  ・**「キー」** … キー信号を出力させます。

・**「文字列」** … 特定の文字列を出力（挿入）させます。
・**「マウス クリック」** … マウスクリック操作を出力させます。
・**「アプリケーションの起動」** … アプリケーションソフトを指定し起動します。
・**「連続操作」** … 連続的操作を出力させます。
「キー」～「アプリケーションの起動」など連続動作を設定します。一連の動作を記録し動作させることが可能です。

目的に応じて設定を行ってください。

・ キー設定

「出力の選択」で「キー」が選ばれた場合に表示されます。

設定を行いたいキーを指定します。Shift キー、Ctrl キー、Windows キー、Alt キー等との組み合わせの場合は、それぞれのキーにチェックを入れます。キー項目の窓をクリックすると、設定を行うキーボード画面が表示されますので、設定を行いたいキーをマウスで選択します。

キーボード拡大（部分）

（例）Alt+F4 キーの出力を設定した場合

・ 文字列

「出力の選択」で「文字列」が選ばれた場合に表示されます。

特定の文字列を出力させたい場合、ここに文字列を入力します。
(※文字列の挿入は、メモ帳、ワードパッド、IE のアドレスバー・テキスト入力部分に対応しています。)

- **マウス クリック**

「出力の選択」で「マウスクリック」が選ばれた場合に表示されます。

クリック動作を出力させたい場合は、動作を選択します。

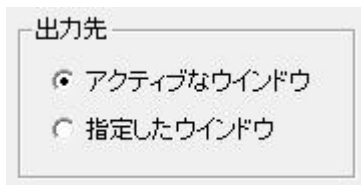
- **アプリケーションの起動**

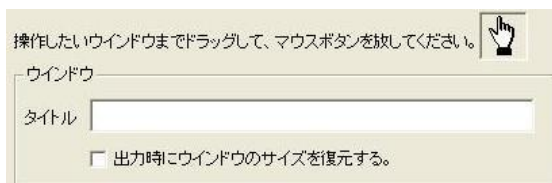
「出力の選択」で「アプリケーションの起動」が選ばれた場合に表示されます。

出力結果として、特定のアプリケーションソフトを起動させたい場合は、ここで、目的のアプリケーションファイルを指定します。
・「スタートメニューから指定」…スタートメニューに登録されているアプリケーションが表示されます。ここから指定します。
・「参照」…エクスプローラー画面から、アプリケーションを指定します。

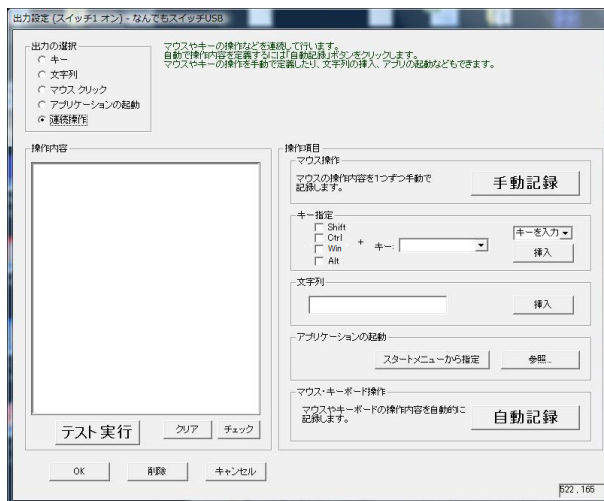
- **出力先**

「出力の選択」で指定した出力先を指定します。

出力先
- ◉ アクティブなウインドウ
- ○ 指定したウインドウ

・「アクティブなウィンドウ」…
　表示されている操作可能な状態になっているウィンドウに出力させます。
・「指定したウィンドウ」…
　特定のウィンドウにのみ出力させます。

操作したいウインドウまでドラッグして、マウスボタンを放してください。
ウインドウ
タイトル
☐ 出力時にウインドウのサイズを復元する。

この指定操作時に目的のウィンドウが表示されている場合は、手の形をした部分にマウスをあわせクリックしたまま目的のウィンドウにドラッグすることで指定できます。このとき、マウスポインタが手の形の変わり、

目的のウィンドウ上に移動すると、タイトル入力部分にウィンドウタイトル名が表示入力され、指定したことになります。
また、目的のウィンドウタイトルを直接入力することでも指定可能です。
※出力先の選択指定は、「連続操作」では行えません。

・ **連続操作**
「出力の選択」で「連続操作」が選ばれた場合に表示されます。
連続操作は、マクロ処理による動作を行わせるものです。
画面右に、**操作項目**（**マウス操作、キー指定、文字列、アプリケーションの起動、マウス・キーボード操作**）の設定画面を表示し、画面左には、**操作内容**として、設定した動作を表示します。「テスト実行」ボタンを押すことで実際にスイッチを押したときの動作確認が行えます。

※操作項目について

操作項目は、以下のとおりです。

1. マウス操作(手動による設定)
2. キー指定(手動による設定)
3. 文字列(手動による設定)
4. アプリケーションの起動(手動による設定)
5. マウス・キーボード操作(自動記録による設定)

組み合わせて連続的な動作を行えます。

※操作内容について

操作項目で設定した内容が、「操作内容」に表示されます。

処理動作は、一動作毎、行単位で、動作を行うまでの時間(秒単位)、動作内容が表示されます。

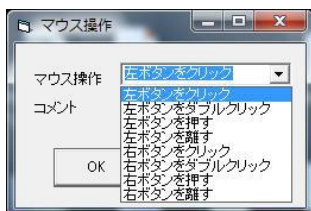
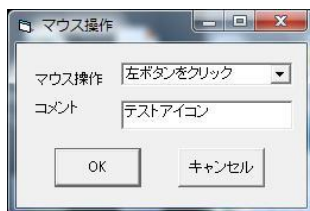
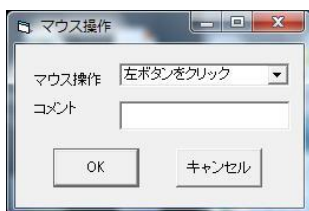
テスト実行の結果、目的の処理動作とならない場合は、調整(編集)を行うことができます。

・操作項目＝ マウス操作

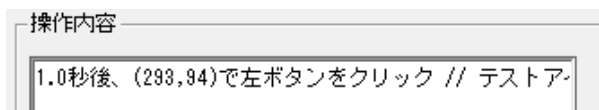
マウスクリックを行いたい位置とクリック動作を記録できます。

『手動記録』ボタンを押すとマウスクリック位置の記録動作に入ります。

停止ボタンを押すと記録動作をキャンセルします。

目的の個所でマウスクリック動作を行うと、クリック動作画面が表示されます。

マウス操作の動作リストより、クリック動作を選択し、操作内容で確認できるように「コメント」を入力します。

『OK』ボタンを押し記録動作が完了すると、「操作内容」に表示されます。
表示される内容は、動作時間、場所(座標)、クリック内容、コメントです。

操作内容

1.0秒後、(293,94)で左ボタンをクリック // テストア

・ **操作項目＝ キー指定**

キー信号を指定します。
指定後「挿入ボタン」を押すと、操作内容に反映されます。

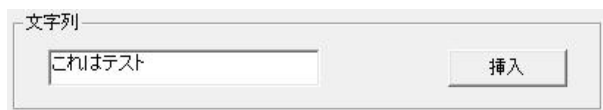
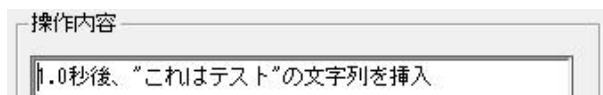
設定を行いたいキーを指定します。Shift キー、Ctrl キー、Alt キー等との組み合わせの場合は、それぞれのキーにチェックを入れます。キー項目の窓をクリックすると、設定を行うキーボード画面が表示されますので、出力を行いたいキーをマウスで選択します。

（例）↑　Ctrl+Home キーの出力を設定した場合

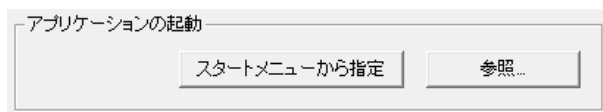
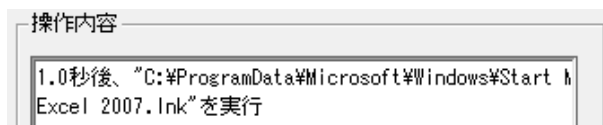
目的のキーを選択し、キー動作を指定します。
通常は、「キーを入力」を指定しますが、出力対象のアプリなどによっては、動作しない場合がありますので、「キーを押す」「キーを離す」を適宜選んでください。
※**「キーを入力」**は、目的のキーの入力動作を行わせます。
　「キーを押す」は、目的のキーを押し下げの状態にします。
　「キーを離す」は、目的のキーの押し下げを開放します。**「キーを押す」**動作と組み合わせてご使用ください。

「操作内容」に、指定された動作が表示されます。

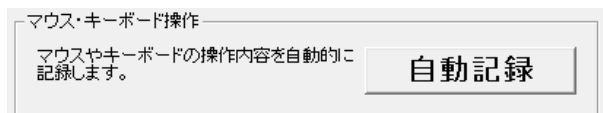
・ **操作項目＝ 文字列**
特定の文字列を出力させたい場合、ここに文字列を入力します。

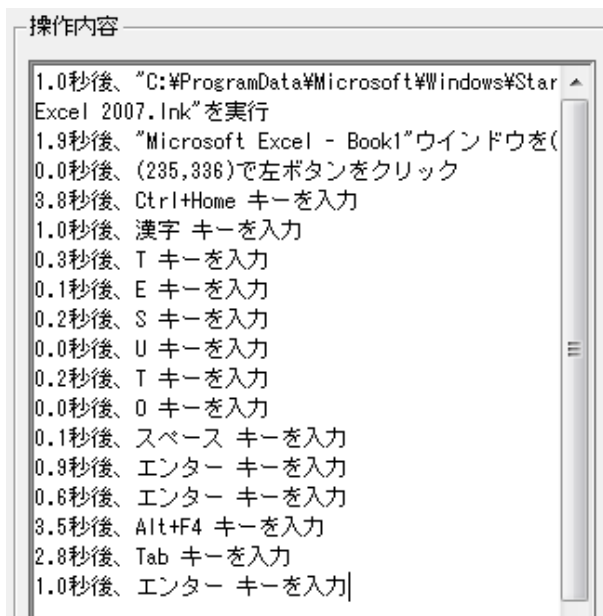
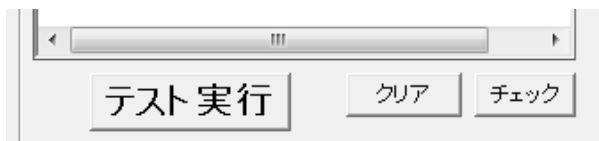
（※文字列の挿入は、メモ帳、ワードパッド、マイクロソフトワード 2003・2007、マイクロソフトエクセル 2003・2007、IE のアドレスバー・テキスト入力部分に対応しています。）

テキスト入力ボックスに目的の文字列を入力し、「挿入」ボタンを押します。

「操作内容」に、指定された動作が表示されます。

・ **操作項目＝ アプリケーションの起動**

出力結果として、特定のアプリケーションソフトを起動させたい場合は、ここで、目的のアプリケーションファイルを指定します。
アプリケーション以外の「ファイル」も開くことが可能です。

・「スタートメニューから指定」…スタートメニューに登録されているアプリケーションが表示されます。ここから指定します。
・「参照」…エクスプローラー画面から、アプリケーションを指定します。

「操作内容」に、指定された動作が表示されます。

・ **操作項目＝ マウス・キーボード操作**

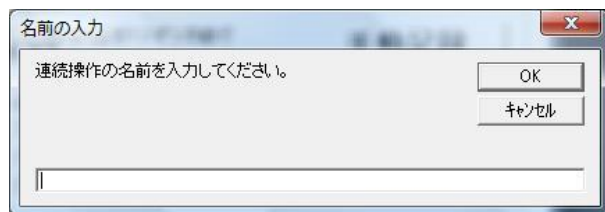
実際にマウス操作、キーボード操作を行った動作を記録します。

『自動記録』ボタンを押すと処理の記録動作に入ります。

『停止』ボタンが押されるまで、記録処理を行います。必要な処理が終わりましたら、『停止』ボタンを押してください。

「操作内容」に、記録された処理が表示されます。
処理動作は、一動作毎、行単位で、動作を行うまでの時間(秒単位)、動作内容が表示されます。

「操作内容」画面下部の『テスト実行』ボタンを押すことで、記録結果の確認が行えます。
テスト実行の結果、目的の処理動作とならない場合は、調整(編集)を行うことが可能です。

調整(編集)を行う場合は、行単位で行ってください。「マウス操作」、「キー指定」、「文字列」、「アプリケーションの起動」の各操作項目を利用し挿入操作を行なうことで微調整が可能です。
「操作内容」画面下部の『チェック』ボタンがあり、直接修正を行える文字列が「青色」で表示されます。調整時に誤った記述がされた箇所は「赤色」で表示され確認ができます。
※ファイル操作(選択実行)などは、操作項目の「アプリケーションの起動」をご利用ください。
※スタートメニュー操作やデスクトップ操作など、マウス動作がうまく行えない場合があります。また、スタートメニューを操作する「Windows キー」は自動記録では認識できません。「キー指定」にて操作挿入(編集)を行ってください。
※ダイアログボックスなどのボタン操作時、[Y]キー、[N]キーが反応しない場合があります。この場合は、[Tab]キーと[Enter]キーの組み合わせをご利用ください。

3. 出力設定の登録(完了)

「出力の選択」～**「連続操作」**の設定が終わりましたら、**『登録』**を押します。

連続操作の設定を行った場合は、メイン画面上に表示される設定名を登録するダイアログが表示されます。

設定内容がわかる名前を入力して『OK』を押してください。

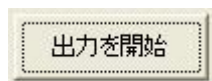
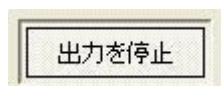
これで、設定の完了です。メイン画面に戻ります。メイン画面上で、設定が反映されているか、確認ください。

4. なんでもスイッチ USB アプリケーションの設定完了　操作の開始

出力設定の登録まで完了すると、メイン画面に戻りますので、設定の確認を行

ってください。

・ **出力の開始**

アプリケーションの開始を行うためには、メイン画面右上に表示されているボタン『出力を開始』をマウスでクリックすることで、出力が開始されます。

出力が開始されると、このボタンは、『出力を停止』と表示が変わります。

目的の設定が行われているか、本機のスイッチを押して動作の確認します。異なっている場合は、設定をしなおしてください。

＊出力の設定などの変更を行う場合は、『出力の停止』をクリックして『出力を開始』の表示に変えてから、変更作業を行ってください。

・ **操作の開始**

「なんでもスイッチ USB アプリケーション」メイン画面は、表示させたままでもご利用いただけますが、動作の確認を行う以外は画面を閉じて利用することができます。メイン画面の下側にある『OK』を押していただくことで、メイン画面が隠れます、その後の操作に干渉することなくお使いいただけます。

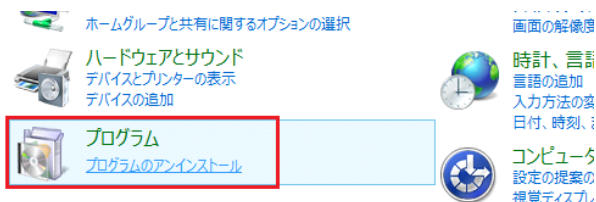
メイン画面を『OK』を押して隠してご利用いただいた後、また、表示させたい場合は、タスクトレイ内のアプリケーションアイコンをマウスで右クリックして、メニューより「開く」を選択していただくことで表示されます。

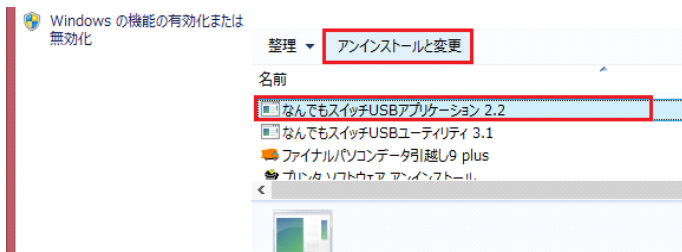
10. アプリ・ユーティリティ・ドライバの削除

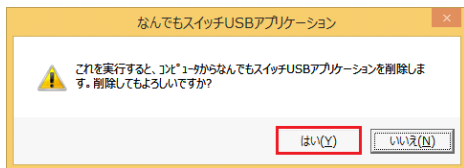
「なんでもスイッチ USB」のアプリケーション、ユーティリティおよび USB ドライバを削除する場合、次の手順に従ってください。

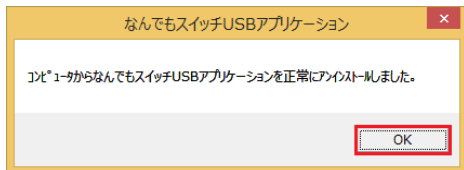
WindowsVista、7、8 の場合

1. アプリケーションの削除

- **アプリケーションを終了します。(※必ず終了させてください。)**
  タスクトレイの「**なんでもスイッチ USB アプリケーション**」のアイコンを右クリックして、メニューから「終了」を選んでください。
- **アプリケーションを削除します。**
  スタートメニューから「コントロールパネル」を開き、「プログラムのアンインストール」選びます。

例)Windows8

「プログラムのアンインストール」の一覧から「**なんでもスイッチ USB アプリケーション**」を選び、「アンインストールと変更」を押します。
「ユーザーアカウント制御」が表示されますので、「続行」を押します。

例)Windows8

削除確認の表示が出ますので、「はい」を押します。

例)Windows8

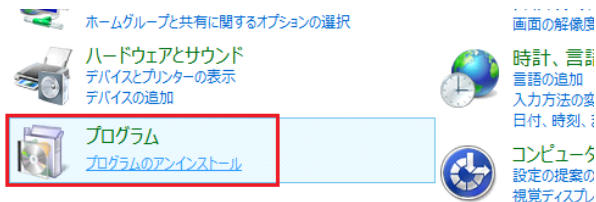
削除が完了します、「OK」を押してください。

例)Windows8

2. ユーティリティの削除

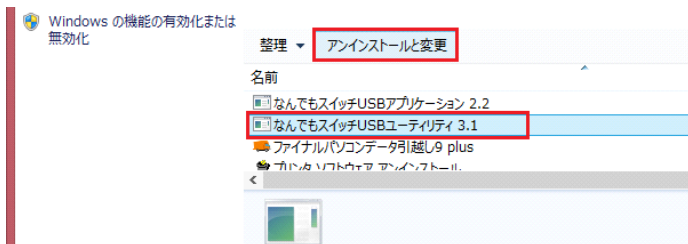
- **ユーティリティを終了します。(※必ず終了させてください。)**

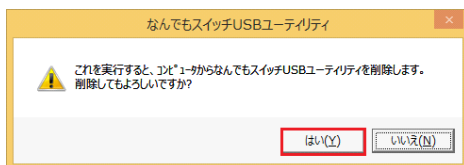
  タスクトレイの「**なんでもスイッチ USB ユーティリティ**」のアイコンを右クリックして、メニューから「終了」を選んでください。

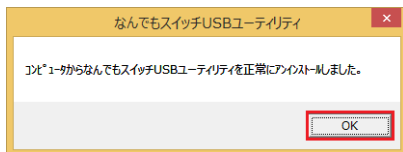
- **ユーティリティを削除します。**

  スタートメニューから「コントロールパネル」を開き、「プログラムのアンインストール」選びます。

例)Windows8

「プログラムのアンインストール」の一覧から「**なんでもスイッチ USB ユーティリティ**」を選び、「アンインストールと変更」を押します。

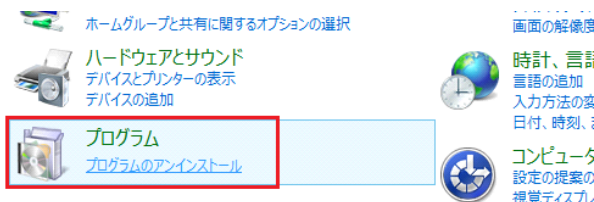
「ユーザーアカウント制御」が表示されますので、「続行」を押します。

例)Windows8

削除確認の表示が出ますので、「はい」を押します。

例)Windows8

削除が完了します、「OK」を押してください。

例)Windows8

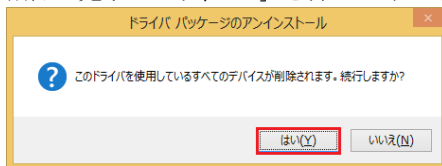
3. USB ドライバの削除

・ USB ドライバを削除します。

スタートメニューから「コントロールパネル」を開き、「ソフトウェアのアンインストール」選びます。

例)Windows8

「プログラムのアンインストール」の一覧から「**Windows ドライバパッケージ -Technotools Corporation なんでもスイッチ USB (04/21/2011)**」を選び、「アンインストールと変更」をクリックし、削除を行ってください。

例)Windows8

削除が完了します、「OK」を押してください。

※アプリケーション、ユーティリティおよび USB ドライバを削除すると、**「なんでもスイッチ USB」本機**は使用できなくなります。

11. うまく動作しない時

本機がうまく動作しない時は以下の項目をチェックしてください。

1. タスクトレイにアイコンが表示されていない

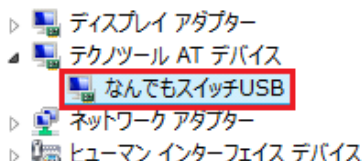
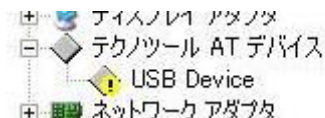
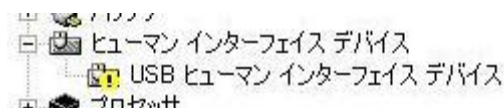
以下を確認してください。
スタートメニュー＞すべてのプログラム（プログラム）＞
なんでもスイッチ USB
・なんでもスイッチ USB ユーティリティ
・なんでもスイッチ USB アプリケーション
が表示されますか？
表示されない場合は、本機付属の導入 CD-ROM で setup を実行して、ユーティリティおよびアプリケーションをインストールしてください。
表示されている場合は、それぞれをマウスでクリックして起動させてください。

2. タスクトレイのアイコンが「動作中」に変わらない

「なんでもスイッチ USB」本機がパソコンに接続されているか、確認してください。
接続されている場合は、USB ドライバが適切にインストールできていない可能性がありますので、以下を参照し解消して下さい。

・ドライバの状態確認

コントロールパネル内の「ハードウェアとデバイス」を開きます、「デバイスとプリンター」の項目内の『デバイスマネージャー』をクリックします。
なんでもスイッチ USB ドライバが、正常にインストールされている場合、デバイスマネージャーの一覧項目に**「テクノツール AT デバイス」**と表示され、その下位に『**なんでもスイッチ USB**』と表示されます。

ディスプレイ アダプター
テクノツール AT デバイス
なんでもスイッチUSB
ネットワーク アダプター
ヒューマン インターフェイス デバイス

正常にインストールされていない場合は、**「テクノツール AT デバイス」**の下位に**「！」マーク**とともに、「USB Device」といった表示や、

「テクノツール AT デバイス」の表示が無く、「その他のデバイス」、「ヒューマンインターフェースデバイス」といった表示がされ、

その下位に「！」マークとともに「USB Device」や「USB ヒューマンインターフェースデバイス」、「不明なデバイス」などと表示されています。
このような場合は、**「なんでもスイッチ USB」**本機をパソコンに接続しても利用できない状態となっていますので、現在認識されているドライバを削除し、正式なドライバの再導入が必要となります。

・ドライバの削除

本紙記載の**「10. アプリ・ユーティリティ・ドライバの削除」**をご参照下さい。
※旧バージョン(TSWNA-31,A02,A01)をご利用の場合は、デバイスマネージャー上で削除する必要があります。デバイスマネーシャー上で表示された**「テクノツール AT デバイス」**の下に表示される**「なんでもスイッチ X.0-USB」**をマウス右クリックで選択し「削除」を選んでください。操作上、ご不明な点がございましたら、弊社サポート宛にご連絡ください。

・ドライバの再導入

「なんでもスイッチ USB」本機とパソコンの接続を解除します（USB を抜きます）。
本機に付属の導入 CD をパソコンにセットし、本紙「**5. ユーティリティ・アプリ・ドライバのインストール**」の案内にしたがって、インストールし直してください。
これで、ドライバの再導入が可能となります。
※インストールしなおす場合は、「なんでもスイッチ USB アプリケーション」および、「なんでもスイッチ USB ユーティリティ」を終了させてください。

3. なんでもスイッチ USB を使っているとハングアップする

複数のアプリケーションが起動していますと、システムリソースが不足し動作が不安定になります。同時にたくさんのプログラムを実行しないでください。

4. USB を抜き差ししたら動作しなくなった

本機はプラグ＆プレイに対応していますが、短い間隔で抜き差しをおこなうとまれに動作しないことがあります。ゆっくりと抜いてから挿しなおすと復帰します。それでもうまく動かない時はパソコンを再起動してください。

5. スイッチ反応がおかしい、押したままの状態になる

なんでもスイッチをご利用は、パソコン起動の１ログインユーザーのみでご利用ください。複数のログインユーザーが起動されていると正常に動作しません。
他のユーザーログインが行われていない状態で、スイッチ反応がおかしい場合は、お使いの(接続されている)スイッチの不具合である場合があります。なんでもスイッチ本体上部の「テスト用スイッチ」でご確認ください。「テスト用スイッチ」で正しく動作する場合は、接続されているスイッチに不具合が生じている可能性があります。この場合は、接続されているスイッチを交換してご確認ください。「テスト用スイッチ」でも正常に動作しない場合は、弊社サポート宛にご連絡ください。

12. 保証規定

1) 保証期間はご購入日から1年間です。
2) 保証期間中に、ユーザーズマニュアルにしたがった正常な使用状態で故障した場合には、保証規定の記載内容に基づき無償で修理します。
3) 修理をご希望の際は、販売店または弊社ユーザサポートまでご連絡ください。
4) 修理品をお送りいただくときは、送料をご負担ください。
5) 保証期間内でも、以下の場合の修理は有償となります。
   ・火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および破損。
   ・お買い上げ後の輸送、移動時の落下等、お取り扱いが不適切なために生じた故障および破損。
   ・改造またはご使用の責任に帰すると認められる故障および破損。
   ・消耗品等の交換、自然磨耗部品および付属品の交換。
   ・バージョンアップ。
6) 本製品故障またはその使用上生じたお客様の直接、間接の損害につきましては当社はその責に任じません。

13. 使用許諾条件

ソフトウェアのご使用の前に必ずお読みください。

本使用許諾契約書(以下「本契約書」といいます) は、本ソフトウェア・プログラム（以下、本ソフトウェアとする）に関してお客様（個人・法人を問いません)とテクノツール株式会社(以下「弊社」といいます) との間に締結される法的な契約書です。

本ソフトウェアは、お客様が本契約書に同意していただいた場合にのみ、ご使用していただけます。

本ソフトウェアをインストール、複製、または使用することによって、お客様は本契約書の条項に拘束されることに承諾されたものとしますので、事前に下記の契約条項を十分にお読みください。

この契約に関してご不明な点等ございましたら弊社にご連絡頂くようお願い申しあげます。

テクノツール株式会社
代表取締役　島田　努

ソフトウェア使用許諾条項

テクノツール株式会社（以下「甲」といいます）が作成したソフトウェアのご使用にあたり、以下の条項にご同意いただきます。

1．　本契約は、本ソフトウェアをインストール、複製、または使用することによって発効します。

2．　本ソフトウェア(本ソフトウェアおよび必要となるデータベース、それに関連した媒体、マニュアルなどの印刷物、オンラインまたは電子文書等)の著作権は、甲が有するものであり、日本国著作権法及び国際条約により保護されていますので、お客様は、ソフトウェアを他の著作権保護対象物と同じように取り扱わなければなりません。

3．　お客様は、1ライセンスにつき、本ソフトウェアのコピー1 部を 1 台のコンピュータ上において使用することができます。

(a)「使用する」とは、コンピュータの RAM 等の一時メモリに読み出すこと、及びコンピュータのハードディスク等の固定メモリに組み込むことを意味します。

(b) 複数のコンピュータ上において本ソフトウェアを使用する場合には、同時に使用しない場合であっても、使用するコンピュータの数と同じライセンス数の使用許諾を受けなければなりません。

(c) お客様は、バックアップもしくは保存用の目的に限って本ソフトウェアの使用に必要となるデータベースをコピーすることができます。

4． お客様は、本ソフトウェアに付属するマニュアル及びその他の印刷物を複製できません。

5． お客様は、本ソフトウェアを第三者にレンタル又はリースすることはできません。又、第三者に使用させることもできません。

6． お客様は、本ソフトウェアについてリバース・エンジニア、逆コンパイル又は逆アセンブルすることはできません。

7． 本ソフトウェアの使用において、次の範囲において甲は責任を負うものではありません。

(a) 本ソフトウェアの不具合が火災、地震、第三者による行為その他の事故、お客様の故意もしくは過失、誤用その他異常な条件下での使用によりおいて生じた場合には、甲は保証の責任を負いません。

(b) 甲は、本ソフトウェア、付属のマニュアル及び印刷物に関して、商品性及び特定の目的に対する適合性を含むその他の保証を、明示たると黙示たるとを問わず一切いたしません。

(C) いかなる場合においても、甲は本ソフトウェアの使用又は使用不能から生ずるいかなる他の損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損害を含むが、これらに限定されない）に関して、一切責任を負わないものとします。たとえ甲がかかる損害の可能性について知らされていた場合でも同様です。

14. 連絡先

お問い合わせ、修理につきましては販売店または弊社ユーザサポート係までお問い合わせください。

テクノツール株式会社 ユーザサポート係
〒206-0802 東京都稲城市東長沼 2106-5 マスヤビル4F
電話:042(370)6379 FAX:042(370)6378
E-MAIL support@ttools.co.jp
Web サイト http://www.ttools.co.jp
サポート受付時間:祝祭日を除く月曜から金曜日 10:00～12:00 13:00～17:00

本製品の仕様

製品名	
なんでもスイッチ USB (TSWNA-71)	
本体型番	TSWNA-D01
PC インターフェース	USB 1.0 規格対応
スイッチインターフェース	直径 3.5mm ミニジャック
消費電流	最大 100mA (5V) (USB ポートより給電)
動作温度範囲	温度 0℃～40℃ 湿度 20～80% (ただし結露しないこと)
寸法	67(W)×67(D)×27(H)mm
質量	約 80g
ドライバ CD	TSWNA-D01-F5 (なんでもスイッチ USB ドライバ なんでもスイッチユーティリティ なんでもスイッチアプリケーション)